

<最近の情勢>

<重点事項のポイント>

1. 宇宙安全保障の確保

- 安全保障における宇宙の役割が拡大
- 米国では、極超音速滑空弾等への対応策として小型衛星コンステレーション構築の動きが加速

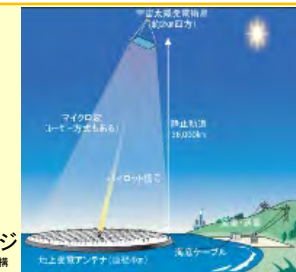
- **準天頂衛星システム、情報収集衛星、通信衛星、SSA衛星等の宇宙システムを着実に整備。**
- **ミサイル防衛等のための衛星コンステレーション**について、米国との連携の可能性も念頭に検討を行い、**先行的な技術研究**に着手。
- **机上演習**の取組強化、宇宙システムの**サイバーセキュリティ対策のための民間向けガイドライン**の開発。



2. 災害対策・国土強靱化や地球規模課題の解決への貢献

- 災害対策・国土強靱化が喫緊の課題となる中、衛星による貢献の可能性
- 2050年カーボンニュートラル達成に向けた宇宙からの貢献への期待

- **被災状況を大小様々な衛星により迅速かつ効果的に把握できる体制構築**に向け、官民共創で観測衛星システムの開発を推進。これにより、**統合型G空間防災・減災システム**の構築にも貢献。
- **衛星等を活用した国際的な温室効果ガス観測ミッション構想**の策定・推進。**宇宙太陽光発電**の実用化に向けた取組の推進。



3. 宇宙科学・探査による新たな知の創造

- 欧米や中国等の火星探査計画が活発化
- アルテミス計画について、着実に取組を進める必要

- **2029年度の人類初の火星圏からのサンプルリターン実現**に向け、**2024年度に火星衛星探査計画（MMX）の探査機を確実に打ち上げ。**
- **アルテミス計画**について、米国との合意に基づき、**ゲートウェイの機器開発等の取組**を進める。また、今後の持続的な月面活動を視野に、**産業界とともに、有人と圧ローバの研究開発や、活動基盤を支える技術の開発**を推進。



4. 宇宙を推進力とする経済成長とイノベーションの実現

- デジタルトランスフォーメーションを支えるインフラとしての役割が拡大
- 新たな宇宙活動のための制度環境整備の必要性

- **衛星データの利用拡大**に向けて、自治体等とも連携し、**地域の課題解決につながるデータ利用ソリューション**の集中的な開発・実証を推進。
- 米国との連携なども視野に入れながら、**宇宙港の整備**などによる**アジアにおける宇宙ビジネスの中核拠点化**を目指して、**必要な制度環境を整備**。**宇宙空間の資源探査・開発等**について、**新たな法律に基づき、必要な制度整備**を推進。
- **2021年度中目途に、軌道上サービス**についての我が国としての**ルール整備**を目指す。



5. 産業・科学技術基盤を始めとする我が国の宇宙活動を支える総合的基盤の強化

- 海外で小型衛星コンステレーションの構築に向けた取組が加速
- 光通信等の次世代の宇宙技術が、民生・安保の分野を問わず、必要不可欠に

- 我が国独自の**小型衛星コンステレーションの構築**に向けて、**省庁横断でのアンカーテナンシー**等により、官民連携の下、**戦略的な取組**を推進。
- **衛星開発・実証プラットフォーム**の下で、将来を見据えた**基盤技術（AI・宇宙コンピューティング、光通信、量子暗号通信、先進的なセンサ等）の開発**を推進。
- **将来宇宙輸送システム**について、抜本的な低コスト化等の実現に向けて、**国際的な市場動向**を踏まえつつ、官民共創で研究開発を推進。

